令和7年度給食週間の取り組みから

給食センターでは、給食週間に合わせて、各学校のたくさんの子どもたちが一生懸命書いてくれた、感謝のお手紙を受け取りました。給食のことだけでも、いろいろなとらえ方があることに感心し、うれしい気持ちでいっぱいになりました。これからも、みなさんに喜んでもらえる、おいしい給食を作らなければならないと、職員一同、張り切っています。

お手紙の中で、特に印象に残ったものを部分的に抜粋しました。

小学生から

おいしいごはんでお腹いっぱいになれるので、最高です。

給食センターの人たちが作ったおいしい給食が大好きです。

給食をたくさん食べていたので、健康で風邪にもならなくなった。

苦手なものを克服したり、初めてのものを食べて新しい味に出会えたりできました。「出会い」のある給食が大好きです。

バランスのよい給食で、嫌いなもの・苦手なものがたくさん減りました。

バランスのよいごはんを食べると、元気が出る。

ほっかほっかニュースを聞いていると、苦手なものも食べられるようになった。

給食は、どうやったらおいしくなるのか知りたい。

苦手なものも克服できた。好き嫌いが無くなってきたのは、センターの皆さんの頑張りがあったから。栄養たっぷりで、私たちのことを思ってくれていることが伝わってきます。

第一小学校からいただいた門松
給食センターで使った缶詰の空き缶を使ってあります

中学生から

落ち込んでいても、こころをあたたかくしてくれる。

給食のおかげで、体調を崩さずに過ごすことができた。

給食があるだけで、学校が楽しくなった。

学校に来るのが楽しみ。

給食は、4時間がんばった、ごほうび。

味で楽しませてください。

幸せな気持ちになる。

元気とパワー、エネルギーをもらった。

温かくて、おいしくて、とても元気になる。

午前中よりも活発に活動することができる。授業に集中できる。

9年間、給食で支えてもらった。助けられた。

子どもたちから給食センターへ届いたお手紙の一部です

受け取ったお手紙は給食センターの職員全員で読ませていただきました